

五郎請負に加里候儀存知罷在候得共、其儀相答候而は、入魂に仕茂右衛門も同事に不申付候而は不相成候に付、右之品申立、暫致縮候様相見え候。是には様子有之驛と相考候。いづれにも、右兩人之者共請負下仲間之儀、存知不申候哉。此所之有無有驛に可申聞候。

右吟味仕、白狀之上は勿論、假令右之一品不分明に候共、外之儀共色々曲事共前々より有之者に候間、代官取揚追込置、遂言上十村役可取揚事。

若杉村
久五郎

北野村
茂右衛門

滑川町
宗五郎

此者共、去七月より禁牢申付置候間、出牢申付、役儀并半高取揚可申事。

此者、今一往遂吟味、彌最初口上之通、酒に給醉覺不申由に候はゞ、出牢可申付事。

若杉村
與右衛門

宗五郎再吟味之上、替品無之候はゞ、今一往遂吟味、彌外に申合候者無之由申切り候はゞ、廻狀調相廻、御郡を爲騷候罪科を以、於在所死罪に申付度旨願上可申事。

附、せがれ・弟共之事僉議可仕事。

一五九 下作人過歩請取年貢
相計不申候事

未五月十六日庄五郎一判之書付。

一、私組下梯村百姓喜右衛門下作人梯出村五郎八儀、六ヶ年以前、上作喜右衛門持高之内二拾五石役人共より打渡候節、五郎八居屋敷之内二拾歩二厘過歩御座候に付、請地に仕置申候。

喜右衛門持高之内二拾五石、五郎八一作下し仕儀に候

はゞ、役人共より打渡し申儀は有之間敷候。尤五郎八居屋敷等歩之僉議も無之筈に候。役人打渡候へば、一通り之一作下に無之儀分明に候。

同斷

一、暮に至、梯村役人共より御收納算用仕候節、五郎八間違之儀申聞、過歩拾三步七厘九毛有之旨書出し、右御年貢米も不仕、彼是と申偽り、年内迄五ヶ年之間相斗不申。依之去十二月廿一日私方に而僉議仕候所、五郎八最前役人共迄書出し置申拾三步七厘九毛之書物も、謀書と申偽り承引不仕候。

五ヶ年之間過分之指引も僉議指詰不申、過分之年貢斗不申候所、數ヶ年其分に指置候儀、梯村役人共仕形一圓難心得候。

一、謀書と申は至而重き筋候。手跡之様子に而も相知可申儀に候。
一、か様之出入事、廻口加判に而指出し申筈に候所、庄五郎一判に而指出候儀、以之外心得違に候事。

一六〇 大樋村十右衛門手合渡し
不足銀之事

覺

二拾五貫五百五拾六匁九分四厘之内水下引
中田組
一、拾二貫七百六拾四匁二分五厘
大瀧組
六貫六百目之内
一、三貫五百目
水下引
一、一貫七百三拾三匁九分一厘
埴生組
一、拾貫百九拾二匁四分六厘
苗加跡組
五貫百六匁九分六厘之内
金屋本江組
一、三貫九百六匁九分六厘
大西組
一、四百四拾目七分八厘
内嶋組
一、二貫六百目
射水郡
北野組

一、八貫六百五拾八匁七分二厘
四拾三貫七百九拾七匁八厘也